

コミュニケーションは社員の満足度を上げる

株式会社赤碕トランスネット

(その2)

鳥取県中部に位置する「株式会社赤碕トランスネット」は、10年以上にわたって障がい者雇用に尽力され、令和7年2月に鳥取県、鳥取労働局、鳥取障害者職業センターが連携して開催した「障がい者雇用企業見学会」の見学先としてご協力頂きました。また令和5年度には同社の知的障がいのある^{てつもと}鐵本さんが、長年にわたって模範的な職業人として業績をあげている「優秀勤労障がい者」として知事表彰を受けられました。今回は前号の続きで、実際に働らかれておられます^{てつもと}鐵本さんの「活躍ぶり」についてご紹介させていただきます。



【会社概要】

- 所在地：鳥取県東伯郡琴浦町八幡174-1
- 事業内容：廃棄物収集運搬処理業
- 従業員数：44名(内障がい者数：1名)

【近年の取組】

- ・循環型社会の実現のために廃棄物のリサイクル率100%を目標に掲げ、今年度はリサイクル率93%を目標に活動されておられます。
- ・地域への貢献を企業の社会的責任として、地域の課題となっている耕作放棄地を活用し野菜などの栽培に取り組まれています。
※事務所や道の駅「ポート赤碕」では栽培した野菜の販売を行っておられます。
- ・従業員の満足度向上に努めておられ、近年若手社員2名が「ロコミ」で入社されたとのことでした。



販売されている野菜

【専属担当者としてリサイクル率UP】

^{てつもと}鐵本さんの仕事内容は、道具を使った廃棄物の分別で、分別を適切に行うことでリサイクル率をアップさせています。また、使用する道具も、^{てつもと}鐵本さんのアイデアで、廃棄物を再利用されており、こうした取組もリサイクル率アップに貢献しています。こうした^{てつもと}鐵本さんの取組の甲斐もあって、会社のリサイクル率は90%まで向上し、今年度は会社の目標として93%を目指しています。

会社目標の達成のためには、^{てつもと}鐵本さんの地道な手作業が重要な戦力となっています。

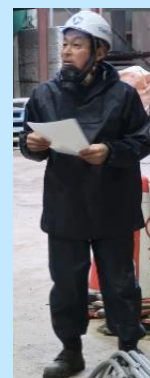


【通勤方法は】

^{てつもと}鐵本さんは、普段は公共交通機関での通勤で、雪の日などは、歩いての出勤となります。このため始業時間に間に合わないときもありますが、その時は必ず事前に連絡をされますので、勤務時間を変更するなどの配慮がされています。こうした配慮が、職場での労働意欲につながっているのではないかと思います。また社員の中でも、近年休みが取得しやすくなったとの声もあるようで、会社全体も変化（進化）している印象でした。

【コミュニケーションUPへの取組】

会社として相談事は先延ばししないことに心がけておられます。また輪番制で朝礼を行っておられます。^{てつもと}鐵本さんも他の同僚と同じく担当されユーモアを交えた話をされ、笑いを取られているようです。それ以外でも^{てつもと}鐵本さんは、会社忘年会の幹事を担当されたこともあるようです。



どちらの企業様でも「障がい者を雇用したら誰が担当するのか？」と人選に苦慮されています。しかし障がい者雇用が根付いている企業様では、周りの方々全員でサポートされている事例を多く見かけます。職場のコミュニケーション向上が、結果的に社員の満足度を向上させ、「ロコミ」での若手社員入社につながったのでしょう。

＜お問合せ＞ 鳥取県 商工労働部 雇用人材局 雇用・働き方政策課

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220 TEL:0857-26-7693 FAX:0857-26-8169 メール:koyou-hataraki@pref.tottori.lg.jp